

平成30年度第3回池田市行財政改革推進委員会以後の主な変更点

◎全体

- 半角、全角、送り仮名など標記の一定の統一
「等」を「など」、名詞の「取組み」を「取組」、とするなど文言の統一を図りました。また、原則数字やアルファベットは半角、()は全角など半角全角についても一定の統一を行うとともに、「及び」の代わりに「や」、「と」を用いるなど、文言の平易化を実施しました。
- 注釈の充実
用語解説を巻末に備え、市民の方々にとって馴染みのない言葉を理解しやすいように工夫しました。前回の委員会の議論を踏まえ、当初の予定より大幅に注釈を付記する語句の数を増やしました。
- 「節」の設置
プラン全体の構成を行う上で「節」を設置し、みやすい体系へと構成の枠組みを変更しました。

(1) プランⅡの概要について (P4、5)

- 「めざす姿」の追加
プランⅡとⅢのめざす方向性の違いを明確にするために、プランⅡがめざす姿である“質の行革”の追及について、文言の追加を行いました。
- 26年度参考数値の削除
プランⅡ期間における各種目標数値の推移の表から、26年度の数値はプランⅠ期間のものであるため、削除しました。

(2) 目標の解説について (P11～)

- 項目として、「4 目標の解説」を設定
プランⅢ期間における目標の詳細な説明に関して、わかりやすさの観点からひとつの節として起こしました。
- よりわかりやすい「財政調整基金残高の見通し」のグラフの活用
平成29年度以前の実績としての残高と、29年度以後の見通しが別々の表とグラフに分かれていたため一本化し、加えて目標値を記載することで、読んだ方にとって理解しやすいものとなるよう変更しました。

- 経常収支比率についての目標に関し、会計年度任用職員の設置に伴う人件費増加について一層言及（P 1 2）

経常収支比率の増加が懸念される大きな要因として、会計年度任用職員制度の開始が挙げられますが、その点について深く言及し、人件費増加の主な要因が期末手当の支給対象の増加にあることを追記しました。

- 実働職員数600人程度へ目標名を修正（P 1 3）

業務の複雑化あるいは困難化、職員ひとりあたりの業務量の増加などの状況や従来職員数の削減を実施してきた経緯を踏まえ、「600人程度の維持」という文言を目標に使っていましたが、プランⅡや他の目標との表記の統一を図る観点から、「600人程度」に目標名の文言の修正を行いました。

- 職員数についての目標と職場環境の整備についての記載内容の差別化（P 1 3、1 4）

前回の委員会で議論になった記載内容の文言などの重複部分に関して該当部分を削除するとともに、「職場環境の整備について」の目標について文章構成の見直しを行い、目標設定の意図が伝わりやすいように両ページ各々の理論を差別化を図るべく、論を再調整し修正を行いました。

（3）実施プログラムについて（P 2 3～）

- 子ども若者政策課（P 2 5）、幼児保育課（P 2 8）、公園みどり課（P 2 9）の取組内容についてそれぞれ表記を修正

前回の委員会の中で指摘のあった取組項目について主担当課と調整をおこない、取組内容についてのより一層理解しやすいものとなるよう、文言の修正を行っていました。

※その他文言や表現の統一、修正を行った箇所があります。